

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院神経内科、分院腎センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間: 2000年4月1日～2018年3月31日の間に、常染色体優性多発性嚢胞腎 (ADPKD) の検査および治療のために虎の門病院分院腎センターに入院・通院した方

### 【研究課題名】

常染色体優性多発性嚢胞腎における脳血管障害に関する研究

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

常染色体優性多発性嚢胞腎 (以下, ADPKD (Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease) と略します) において未破裂脳動脈瘤の発生頻度や臨床的特徴などについて検討することを目的とします。

#### 《研究に至る背景》

ADPKD は脳動脈瘤を合併しやすく、その破裂によって重篤な状態になることから、MRI などの頭部画像検査で未破裂の脳動脈瘤を見つけて経過を観察し、必要に応じて適切な治療を行うことが肝要です。ADPKD の腎臓以外の病変として脳動脈瘤は、多発性肝嚢胞に次いでよく知られています。しかしながら、腎機能が正常な患者さんの 50%、血圧が正常範囲内にある方の約 30% においてさえ動脈瘤が破裂することがあり、破裂を予測することは困難であると言われております。そこで当院では 2000 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日の間の 20 年間に ADPKD の検査および治療のために、虎の門病院分院腎センターに入院、外来受診した患者さんを対象に調査を実施致します。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年3月12日～2019年3月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院分院単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院分院 神経内科 上坂義和のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

**【利用する診療情報】**

診療情報：検査データ、診療記録、薬の使用歴、MRI 画像データなど

**【研究代表者】**

所属している施設名：神経内科 上坂義和

**【虎の門病院分院における研究責任者】**

神経内科 上坂義和

**【研究の方法等に関する資料の閲覧について】**

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

**【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】**

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2018年12月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

**【相談窓口】**

虎の門病院分院 神経内科 上坂義和

電話 044-877-5111(代表)